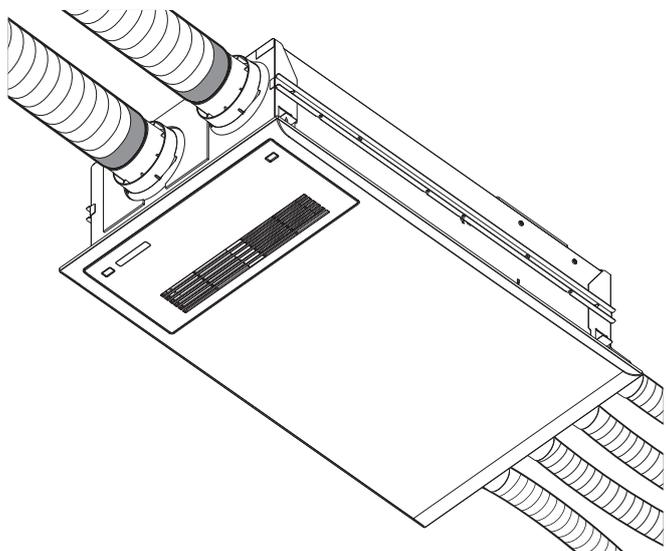


全熱交換型全館24時間換気システム

品番 **ES-1200DC**
ES-1200DC-F1



安全上のご注意 (必ずお守りください) ……	1
特長 ……	3
各部の説明 ……	3
運転する ……	5
風量を切り替える ……	5
冬期モード、外出モードに切り替える ……	5
停止する ……	6
フィルター使用期間ランプについて ……	6
フィルターリセットボタンについて ……	6
点検ランプについて ……	6
お手入れのしかた (1ヶ月に1回) ……	7
故障かな?と思われたら ……	9
アフターサービスについて ……	9
別売り部品 ……	10
仕様 ……	10
長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について ……	10
保証書 ……	裏表紙

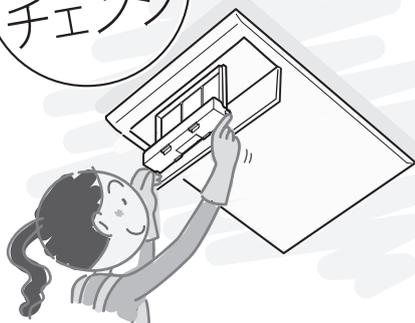
このたびは、全熱交換型全館24時間換気システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ずよく読み、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

- この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- 保証書は、記載してあるお買い上げ日・販売事業者名・保証内容などをよく確認し、大切に保管しておいてください。
- この取扱説明書を紛失された場合や、ご不明な点があれば、お買い求めの販売事業者または、当社にお問い合わせください。

別売り部品

PM2.5対策

簡単
チェンジ



より安心して、
新鮮な外気が
室内に取り込めます。

内部フィルター (ES-1200DC 搭載品)



10 μ m 以上の
粒子

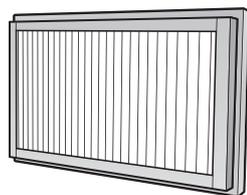
80% 以上除去*

内部フィルター




花粉 火山灰

全熱交換型換気システム用PM2.5対策フィルター (ES-1200DC-F1 搭載品および別売り部品)



2.0 μ m 以上の
粒子

95% 以上除去*

商品名 ES-F106HG
商品番号 JG90254



PM2.5対策フィルターのご用命は

住環境店舗MAX

 **0120-631-722**



住環境店舗 MAX

検索 

<http://www.jyukan-shop-max.com/>

*フィルターの除去性能で、部屋全体の除去性能とは異なります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ここでの「人」とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者および購入者から機器を譲渡された人も含みます。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

本文中や本体に使われている
図記号の意味は次のとおりです。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	人が軽傷を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

	一般禁止
	必ず行うこと

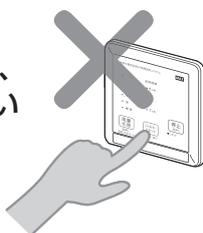
警告



使用禁止

ガス漏れに気付いたときは、 コントローラの操作をしない

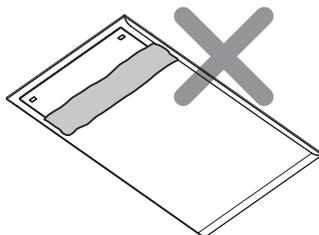
爆発や引火のおそれがあります。
窓がある場合は窓を開けて
空気を入れ換えてください。



禁止

フロントパネルに市販の ごみ取り用フィルターを 取付けない

火災・故障のおそれがあります。



分解・修理禁止

改造は行わない。 また、修理技術者以外の人は、 分解したり修理は行わない

火災・感電・けがのおそれがあります。
修理はフリーダイヤル **0120-011-408**
までご連絡ください。



必ず守る

取付工事並びに電気工事は、 お買い上げの販売事業者、 または専門業者に依頼する

取付けが不完全な場合は、火災、
感電や機器の落下によるけがの
おそれがあります。



アース接続

アースをD種接地工事に基づいて 確実に取付け漏電遮断器が設置 されているか確認する

漏電や故障のときに感電する
おそれがあります。

※アースや漏電遮断器を取り
付ける電気工事は販売事業者
にご相談ください。



交流100V以外では使用しない

火災・感電・故障のおそれがあります。



使用禁止

運転中に機器から異常音や異臭、 その他、運転が通常と違うことを 感じたら、直ちに運転を停止し、 分電盤のブレーカーを切る

マックスカスタマーセンター

0120-011-408 まで

ご連絡ください。

異常のまま運転を続けると
火災や感電のおそれがあります。



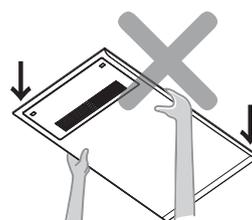
使用禁止

フロントパネルは取外さない

火災・感電・故障のおそれがあります。



禁止

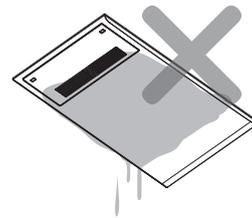


水につけたり、水をかけない

感電、故障するおそれがあります。



禁止



お手入れは分電盤の ブレーカーを切ってから行う (ぬれた手で入／切しない)

感電のおそれがあります。



ブレーカーを切る

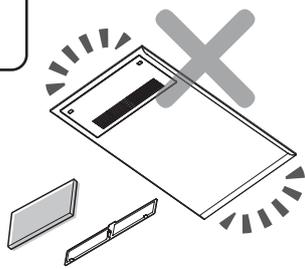


注意



使用禁止

フィルターをはずしたまま運転をしない
故障のおそれがあります。



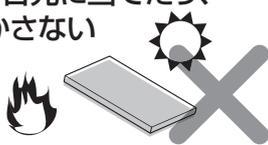
使用禁止

一般家庭用以外の目的に使用しない
この製品は、一般住宅用全館換気システムです。業務用として使用しないでください。



禁止

フィルターを直射日光に当てたり、火に近づけて乾かさない
損傷、変色や変形のおそれがあります。



ブレーカーを切る

長時間使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る
火災、漏電のおそれがあります。



ブレーカーを切る

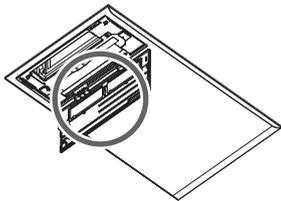
雷が発生しているときは、すぐに使用を中止し、分電盤のブレーカーを切る
故障のおそれがあります。
※雷が遠ざかったことを確認してから分電盤のブレーカーを入れてください。



取付注意

お手入れの際、フィルターの取付けは、確実に

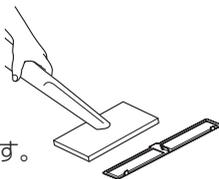
行う
落下によりけがをするおそれがあります。



必ず守る

フィルターのお手入れは定期的に(1ヶ月に1回程度)必ず行う

フィルターが目詰まりすると、天井クロス等の汚れや運転効率の低下や故障や運転音増大のおそれがあります。



必ず守る

お手入れは機械が確実に停止してから行う。すべらないよう足元に注意し、手は手袋などで保護して行う(すべりやすいスリッパなどをはいた状態での作業や、不安定な台での作業は、危険なので行わない)けがをするおそれがあります。



お手入れの際は、アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉、化学雑巾、金属タワシ、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、カビ取り剤等は使用しない



フロントパネル及びコントローラ・スイッチの故障、変色や変形、表示ステッカーの文字が消えるおそれがあります。



使用禁止

コントローラ・スイッチの水拭きは行わない

感電、故障のおそれがあります。



禁止

お手入れの際に、洗剤を使用する場合、中性洗剤を使用し、直接吹きつけない。また、洗剤が残らないように確実に拭き取る

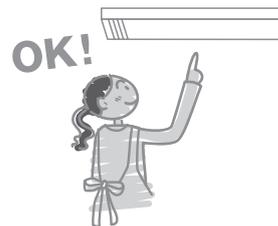
フロントパネル及びコントローラ・スイッチの故障、変色や変形、表示ステッカーの文字が消えるおそれがあります。



必ず守る

本体が天井にしっかりと取付けられていることを確認する

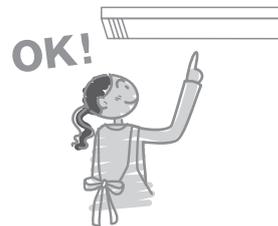
落下によりけがをするおそれがあります。



取付確認

天井取付部などが痛んでいないか、定期的に確認する

取付部などが痛んでいると、火災、感電や機器の落下によるけがのおそれがあります。



取付確認

特長

本換気システムは、気密度が高い住宅の快適な換気を実現するために設置された24時間連続運転を行う換気装置です。

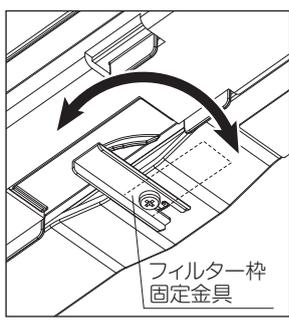
- ◎建築基準法で定められるシックハウス対策の計画換気（機械式換気により住宅全体を1時間に0.5回の換気）を行います。
- ◎室内の汚れた空気を排出すると同時に、新鮮な外気を取り入れて、住宅内の空気をゆっくり入れ替えます。
- ◎外気はフィルターを通して取り込まれ、粉じんや花粉などを概ね除去して供給します。
- ◎空気を入れ替えるとき、排出される室内の空気と、取り込まれる外気との間で熱交換を行い空気は室内の温・湿度条件により近づけた状態で供給されます。
- ◎全熱交換方式のため、排出する熱エネルギーのロスを減らすことができますので、冷暖房費の節約につながります。

各部の説明

換気ユニット 天井に取り付けられています。細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。

フィルター枠固定金具

お手入れのときフィルター枠を脱着するときにつかいます。右回りで固定解除、左回りでロックされます。



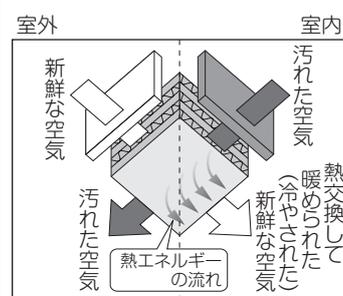
- 内部フィルター
- フィルター枠
- RAフィルター

室内空気吸込口

汚れた空気を吸い込み、屋外へ排出します。

熱交換エレメント換気ユニット(内部)

取り込まれた外気と室内からの排気が内部で交差して熱交換します。



熱交換換気とは

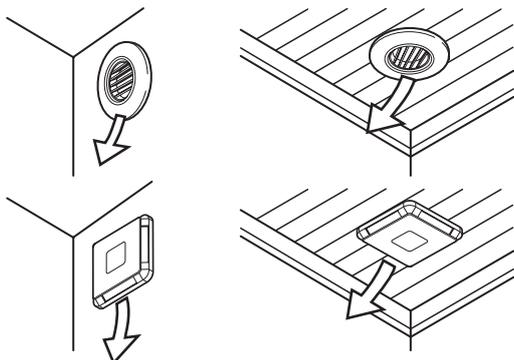
室内の汚れた空気を排出するのと同時に室外の新鮮な空気を取り込んで空気の入れ替えをします。このとき、外気を熱交換によって室温に近づけて取り込むので、冷暖房時でも室温の急激な変化を防止でき、快適な換気ができます。

フロントパネル

経年劣化に係る
注意喚起のための表示位置

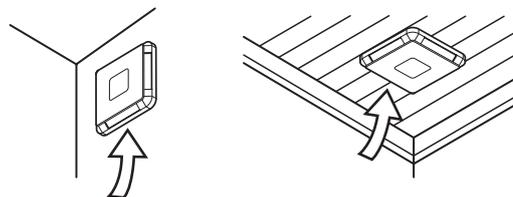
給気グリル

熱交換された新鮮な空気がここから供給されます。1台につき2~6個設置されています。細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。



副吸込グリル (設置されていない場合もあります)

汚れた空気を吸い込み、屋外へ排出します。1台につき1個設置されています。(トイレ等の換気) 細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。



コントローラ

コントローラは通常、換気ユニット近くの壁に取り付けられています。細かい部分のデザインはイラストと異なる場合があります。コントローラを操作するときは、目的に合わせて正確にボタンを押し、ランプの点灯を確認してください。

本説明書ではランプの表示を下記のように示しています。



点検ランプ (赤)

エラー発生時に点灯します。

外出ランプ (緑)

換気ユニットが外出モード運転のとき点灯します。

冬期ランプ (緑)

換気ユニットが冬期モード運転のとき点灯します。

風量強ランプ (緑)

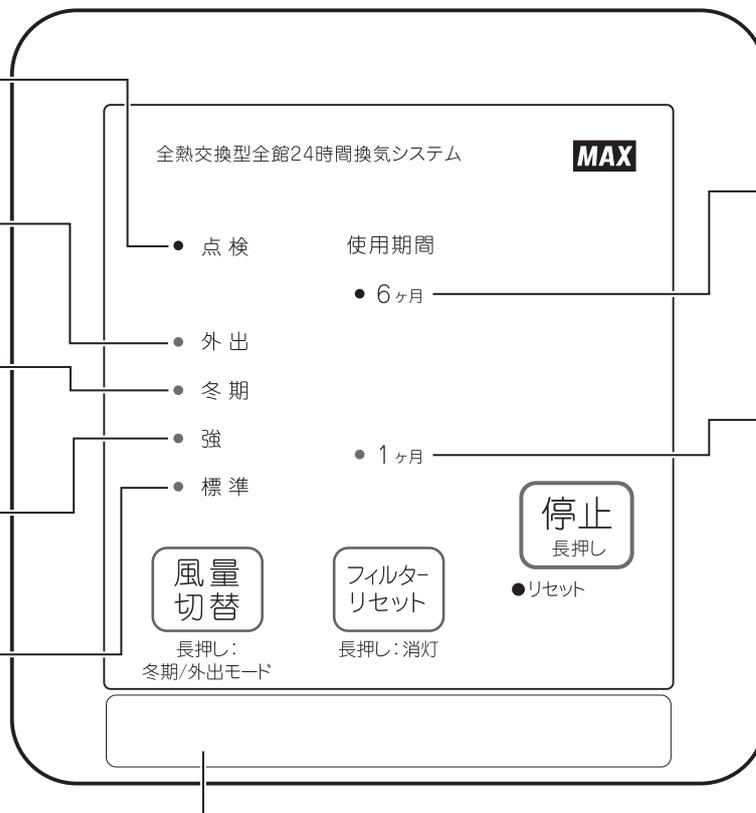
換気ユニットが強運転のとき点灯します。

風量標準ランプ (緑)

換気ユニットが標準運転のとき点灯します。

注意シール

品番、経年劣化に係る注意喚起のための表示、お問合せ先が記載されています。



フィルター使用期間ランプ (赤)

フィルター使用期間6ヶ月経過時に点滅します。

フィルター使用期間ランプ (緑)

フィルター使用期間1～5ヶ月経過時に点灯します。

各ボタンとはたらき

	<p>換気ユニットを運転、停止します。 停止させるときはボタンを3秒以上押し続けます。</p>	<p>P6</p>
	<p>風量を切り替えます。 ボタンを押すごとに「強運転」⇔「標準運転」と切り替わります。 長押しで「冬期モード運転」、「外出モード運転」と切り替わります。</p>	<p>P5</p>
	<p>フィルターの清掃が完了したときに押します。 ボタンを3秒以上押し続けるとフィルター使用期間ランプが消灯します。</p>	<p>P6</p>
<p>●リセット</p>	<p>コントローラを操作しても動作しないときや、異常だと思われるときに使用します。 ボタンを押すと数秒後に運転ランプと風量標準ランプが点灯します。</p>	<p>P9</p>

運転する

本製品はブレーカーを入れたとき、自動的に標準運転が始まります。
運転は止めることができますが、住宅の計画換気の為に必要ですので、メンテナンス以外では停止させないでください。

運転ランプが消えている場合、**風量切替** ボタンを押してください。

風量標準ランプ  標準 が点灯し、運転が始まります。



電源(ブレーカー、スイッチ)を入れても、運転音では運転しているかどうかわかりにくい場合があります。各部屋の給気グリルから風が吹き出していれば故障ではありません。



風量を切り替える

風量切替

ボタンを押してください。ボタンを押すごとに  強 強運転 \leftrightarrow  標準 標準運転 と切り替わります。

風量の切り替えは以下を目安として行ってください。

強運転：通常の運転よりも早く空気を入れ替えたい状況が生じたとき。
例えば、何かの臭気が充満したとき、煙草のけむりが充満したとき、
その他空気が汚れていると感じられたときなど。

標準運転：通常、24時間連続運転を行っている状態です。



お客様の住宅の床面積が大きい場合は、施工時に風量を大きく設定しています。この場合は強と標準はどちらも同じ風量で運転します。



冬期モード、外出モードに切り替える

風量切替

ボタンを3秒以上押し続けてください。

冬期ランプが点灯し、冬期モードとなります。

続けて、**風量切替** ボタンを押すと、外出ランプが点灯し、外出モードとなります。

冬期モード：冬場の過換気を軽減する為、換気風量を約20%下げて運転するモードです。

外出モード：長期外出等で家を不在にする時など一時的に換気量を低減したい場合に使用するモードです。
冬期モードと比べ、更に風量を下げて運転します。



注意

冬期モード・外出モードはお客様の任意でご使用いただくモードです。
冬期モード・外出モード使用時は、建築基準法で定められているシックハウス対策の計画換気(住宅全体を1時間に0.5回の換気)を満たさない為、ご使用後は必ず標準運転設定に戻して下さい。

停止する

停止
長押し ボタンを3秒以上押し続けてください。

すべてのランプが消灯し、運転が停止します。



注意

本製品はお客様の住宅の計画換気を行うために、24時間連続で運転している換気システムです。運転を停止すると、計画換気が行われなくなります。



メモ

フィルター使用期間のカウン트는使用経過期間を記憶したまま停止し、運転開始と同時に再び開始します。



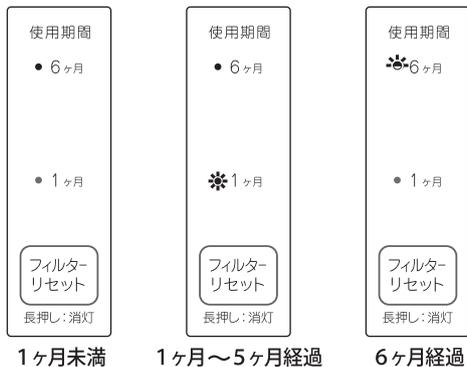
3秒以上
押し続ける

フィルター使用期間ランプについて

本製品はフィルターの使用経過期間がコントローラに表示されます。

フィルター使用期間のカウン트는運転開始と同時に始まります。

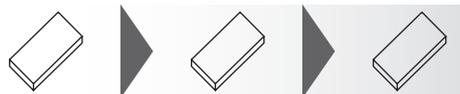
フィルター使用期間ランプを目安に1ヶ月に1回程度フィルターの清掃 (P8参照) を行ってください。



1ヶ月未満

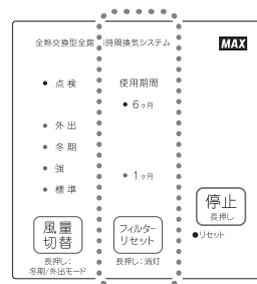
1ヶ月～5ヶ月経過

6ヶ月経過



アドバイス

周囲の状況によりフィルターの汚れ具合は異なります。状況に応じて清掃を行ってください。



※フィルター使用期間ランプは、1～5ヶ月経過時は「1ヶ月」ランプが「点灯」、6ヶ月経過時は「6ヶ月」ランプが「点滅」となります。

フィルターリセットボタンについて

フィルターのお手入れ終了後、使用するボタンです。

お手入れ終了後、フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けてください。

フィルター使用期間ランプが消灯し、フィルター使用期間のカウンートを再スタートします。



注意

フィルター使用期間ランプは、フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けると消灯しますが、必ず、フィルターの汚れ具合を確かめた上、お手入れ終了後、押し続けてください。



3秒以上
押し続ける

点検ランプについて

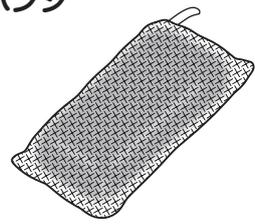
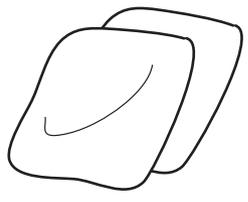
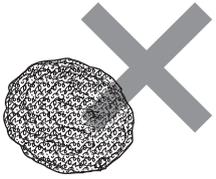
エラーが発生すると、点検ランプが点灯します。

リセット操作をしてください。点検ランプが消灯しない場合、分電盤のブレーカーを切ってから、マックス カスタマーセンター 0120-011-408 へご連絡ください。

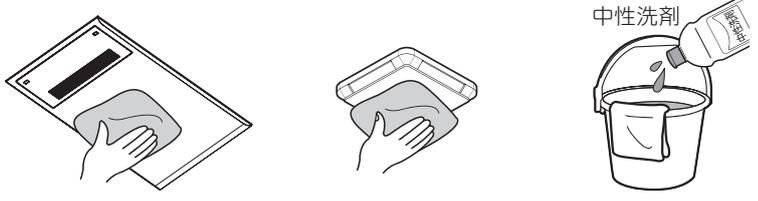
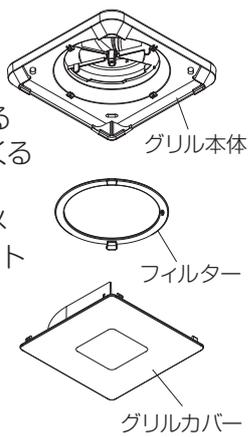
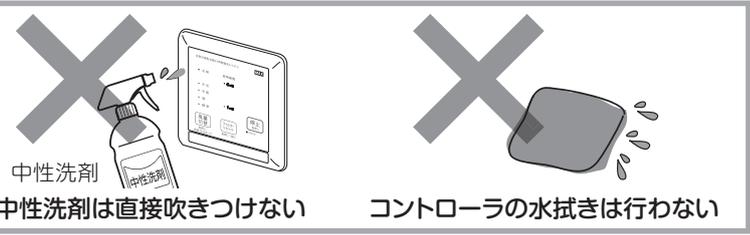
お手入れのしかた (1ヶ月に1回)

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ■水につけたり、水をかけない 感電、故障するおそれがあります。 ■分電盤のブレーカーを切る(ぬれた手で入/切しない) 感電のおそれがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ■フィルターのお手入れは定期的に(1ヶ月に1回程度)必ず行う フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大のおそれがあります。また、フィルターが極度に目詰まりすると、フィルター部以外の隙間から空気が流れ、天井クロス等が汚れるおそれがあります。 ■お手入れは機械が確実に停止してから行う。すべらないよう足元に注意し、手は手袋などで保護して行う(すべりやすいスリッパなどをはいた状態での作業や、不安定な台での作業は、危険なので行わない) けがをするおそれがあります。 ■取外したフィルターやグリルの取付けは、確実にを行う 落下によりけがをするおそれがあります。

お手入れ用具の準備

掃除機 	スポンジ 	中性洗剤 	やわらかい布 
 金属タワシは使用しない	 アルコール、ベンジン、シンナー、みがき粉、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、カビ取り剤は使用しない	 化学雑巾は使用しない	

フロントパネル・コントローラ・給気グリル・副吸込グリルのお手入れ お手入れの前に、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。

<p>フロントパネル・給気グリル・副吸込グリル 良くしぼった布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、お湯で薄めた中性洗剤に浸し、よくしぼった布で拭き取り、洗剤が残らないように最後によく水拭きしてください。</p> 	<p>[副吸込グリルのフィルターのお手入れ方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グリルカバーを取外してください。 ※グリルカバーを落とさないよう注意してください。 ②グリル本体内のフィルターを取外し、フィルターについているほこりを掃除機で吸い取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を適量に薄め、フィルターを浸してスポンジ等やわらかいものでやさしく洗ってください。 ③布で乾拭きして、フィルターをよく乾かしてください。濡れたまま取付けると水滴が落下してくる場合があります。 ④グリル本体内のツメにフィルターをセットしてください。 ⑤グリルカバーを元通りに取付けてください。 
<p>コントローラ 布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、お湯で薄めた中性洗剤に浸し、よくしぼった布で拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。</p> 	
 <p>中性洗剤は直接吹きつけない コントローラの水拭きは行わない</p>	

フィルターのお手入れ

フィルターのお手入れは定期的に(1ヶ月に1回程度)必ず行う

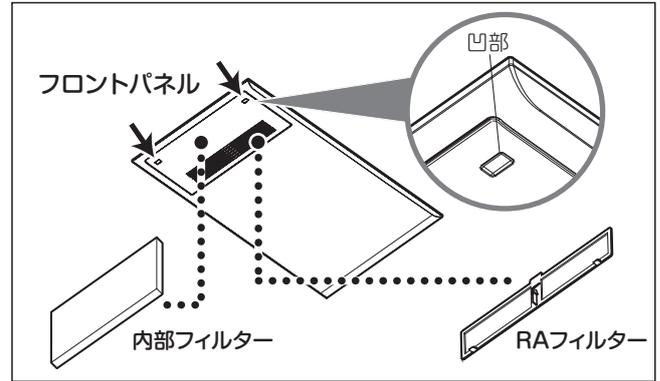
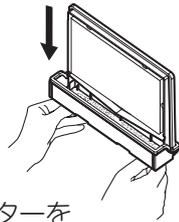
フィルターが目詰まりすると、運転効率の低下や故障や運転音増大のおそれがあります。また、フィルターが極度に目詰まりすると、フィルター部以外の隙間から空気が流れ、天井クロス等が汚れるおそれがあります。

フィルターは『内部フィルター』と『RAフィルター』の2種類あります。お手入れは2種類とも同時に行ってください。

- 1 分電盤のブレーカーを切ってください。
- 2 各フィルター取り出し口の凹部位置2ヶ所を押し、開けてください。
各フィルターを取出してください。

内部フィルターの取外し方

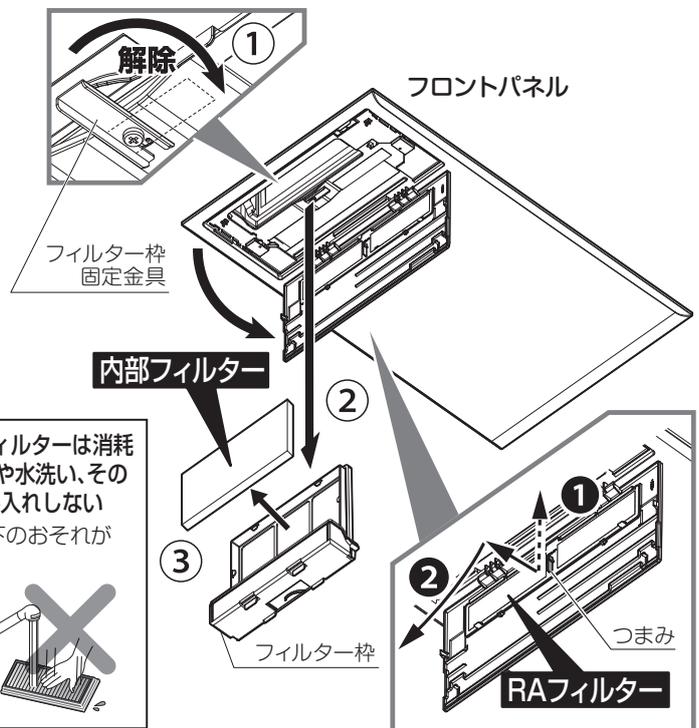
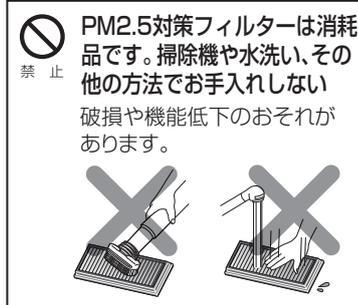
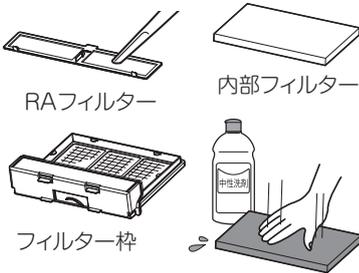
- ① フィルター枠固定金具を解除してください。
- ② フィルター枠をゆっくりと真下に取外してください。
◇勢い良く取外した場合、虫やほこりが落下するおそれがあります。
- ③ フィルター枠から、内部フィルターを取外してください。



RAフィルターの取外し方

- ① つまみを持ち、少し上に持ち上げながら、
- ② 手前に引き、取外してください。

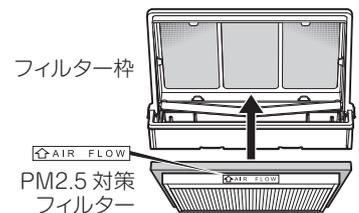
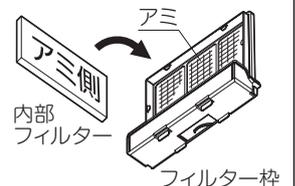
- 3 虫やほこりを掃除機で吸い取ってください。



内部フィルターについては、汚れがひどい場合、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗い(熱湯洗い、もみ洗い禁止)をし、よく乾かしてください(自然乾燥)。押し洗い回数5~6回を目安に、新しいフィルターと交換してください。

- 4 各フィルターを取外しと逆の順序で取付けてください。

- ◇内部フィルターは「アミ側」印刷面をフィルター枠アミ側に向け、取付けてください。
- ◇各フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- ◇フィルター枠はレールに合わせてゆっくりとまっすぐ差し込み、フィルター枠固定金具で確実に固定してください。
- ◇取付け後、運転をして異常音がないか、各給気グリルから風が正常に出ているか、確認してください。
- ◇PM2.5対策フィルターは取付ける向きがあります。右図のとおり、正しい向きに取付けてください。



- 5 お手入れが終了したら、分電盤のブレーカーを入れ、コントローラのランプの点灯を確認した後、フィルターリセットボタンを3秒以上押し続けてください。フィルター使用期間ランプが消灯します。



故障かな?と思われたら

故障と思われたら、症状に応じて次のことを点検・処置してください。

症状	点検していただきたいこと	処置方法	参照頁
コントローラを操作しても動かない。 (ランプが点灯しない)	停電していませんか?	復帰した後、リセット操作をしてください。	9
	分電盤のブレーカーが切れていませんか?	分電盤のブレーカーを入れてください。	
運転時、異常な音や振動がする。	フィルターがはずれかかっていませんか?	フィルターをしっかりと取り付けてください。	8
	フロントパネルがはずれかかっていませんか?	修理を依頼してください。	9
給気グリルから出る風が少なくなった。	フィルターが目詰まりしていませんか?	フィルターを清掃または交換してください。	8
点検ランプが点灯している。	—	リセット操作をしてください。	9
本体から水が滴下する。	台風等の強風により、雨がダクトより吹き込んできた場合や、外気温度が低く室内の温度湿度が高い場合、本体から水が滴下する場合がありますが故障ではありません。 (結露や凍結については、室内外の環境条件により、発生状況が異なります。)	—	—

以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたらマックス カスタマーセンター (フリーダイヤル) ☎0120-011-408までご連絡ください。不完全な処置は事故の原因となりますので、修理は絶対にお客様自身でなさらないでください。

アフターサービスについて

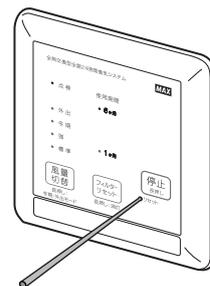
リセット操作について

コントローラを操作しても動作しないときや、異常だと思われたときに使用します。

- ①リモコンのリセット穴に先の細いもの (楊枝など) を入れ、中のリセットボタンを押してください。数秒後に風量標準ランプが点灯します。
- ②それぞれの使用方法に従い、正常に動作するか確認してください。



メモ リセットボタンを押すとフィルター使用期間ランプは消灯し、フィルター使用期間のカウントはリセットされますのでご注意ください。



以上のことをお調べになっても、なお異常があるときや、ご不明の点がございましたらマックス カスタマーセンターまでご連絡ください。

修理

修理を依頼される前に、「故障かな?と思われたら」をもう一度ご確認ください。

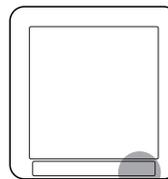
修理のお申し込み

確認後も異常があるとき、またはご不明な点がある場合は、自分で修理せずに、マックス カスタマーセンターへフリーダイヤルまたはインターネットでご連絡ください。なお、ご連絡の際は下記事項をお知らせください。

マックス カスタマーセンター 0120-011-408

ホームページ <http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html>

1. 品 名：全熱交換型全館24時間換気システム
2. 品 番：ES-1200DC/ES-1200DC-F1
(コントローラの右下に表示されています)
3. 施工年月日
4. 故障または異常の内容 (できるだけ詳しくお知らせください)
5. ご住所・お名前・電話番号・道順 (できるだけ詳しくお知らせください)



コントローラ

保証・修理について

- 本書の裏表紙が保証書となっています。保証書に記載されていますように、機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、当社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有償で修理をお受けいたします。

補修用性能部品の保有期間 (「全熱交換型換気システム」は換気扇に準じます。)

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。保有期間後の修理は部品がなく、できない場合がありますので、ご了承ください。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

標準修理料金

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理させていただきます。標準修理料金は『技術料』+『出張料』+『部品代』で構成されています。

別売り部品

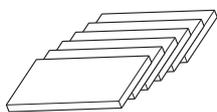
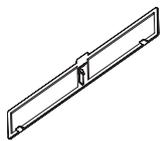
交換用フィルターのご用命は下記で受け付けております。

住環境店舗MAX  0120-631-722

<http://www.jyukan-shop-max.com/>

住環境店舗 MAX

検索 

名称	内部フィルター	PM2.5対策フィルター	RAフィルター
商品名	V0105スベアフィルタセット	ES-F106HG	8300RAフィルター
商品番号	JG90204	JG90254	JG90205
入数	5	1	1
			

破損した場合のみ交換してください。

仕様

品番	ES-1200DC		ES-1200DC-F1		
	標準	強	標準	強	
定格電圧	AC100V 50/60Hz		AC100V 50/60Hz		
モード	標準	強	標準	強	
消費電力 (W)	9~34	34	8~32	32	
給気風量 (m ³ /h)	95~190	190	75~170	170	
熱交換効率 (%)	温度	70~80	70	74~83	74
	エンタルピー暖房値	68~78	68	74~82.5	74
	エンタルピー冷房値	59~70	59	61.5~72.5	61.5
騒音 (dB A)	24~36	36	24~36	36	
質量 (kg)	14.0		14.0		

- 特性はJIS B 8628に基づきます。
 - 騒音値は無響室で本体下方1.5mの位置で測定したものです。実際に据え付けた状態では反響等の影響を受けるため、表示値より高くなります。
 - 給気風量は静圧OPa時(工場出荷時)の値です。
 - 本製品は粉じんや虫の侵入を完全に遮断するものではありません。
- ※パネル、マニホールド、サイドステー、端子台カバー含む

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容表示を本体に行っています。



【設計上の標準使用期間】15年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用できる標準的な期間です。

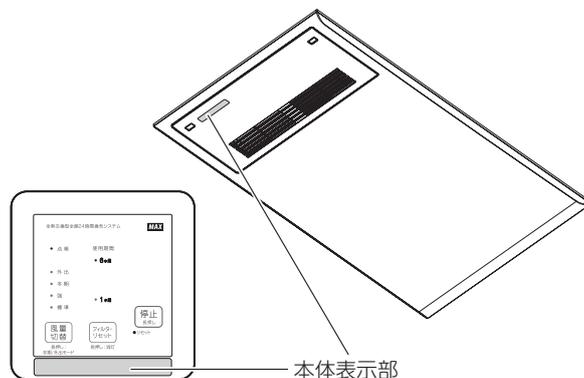
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。

■標準使用条件 日本工業規格JIS_C_9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	JIS C9603参照
	湿度	65%	
	設置	標準設置	機器の施工説明書による
負荷条件		定格負荷(換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所 2410時間/年 居室 2193時間/年 トイレ 2614時間/年 浴室 1671時間/年	

注記 温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。

注 a) 常時換気(24時間連続換気)のものは、8760時間/年とする。



■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

保証書

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、
本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

お名前	お名前 ご住所 〒 TEL
販売事業者名	お名前 ご住所 〒 TEL
保証期間	お買い上げ 年 月 日から1年間

品名	全熱交換型 全館24時間換気システム
品番	ES-1200DC ES-1200DC-F1

（無料修理規定）

- 取扱説明書、取付説明書に従った正常な使用状態で、上記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売事業者、当社または代行店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売事業者または、当社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売事業者にご相談ください。
- ご贈答品で、本保証書に記入してあるお買い上げの販売事業者に修理が依頼できない場合には、当社にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性などの有害ガス、ほこり、落雷、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
 - 取付説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - 業務用の場所でご使用になられた場合。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
 - 樹脂仕上、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - 機器に表示してある電源、電圧以外の電源、電圧で使用された場合。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売事業者名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 消耗部品の取替および保守などの費用。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは修理欄をご覧ください。

【お客様の個人情報のお取扱いについて】

当社は、お客様の個人情報を当社製品の点検修理、お問い合わせへの対応および製品、サービスの改善などに利用させていただき、これらの目的のためにお問い合わせ内容の記録を残すことがあります。なお、点検修理やその確認業務に携わる協力会社にもお客様の個人情報を開示することがありますが、当社と同等の管理を行わせています。

愛情点検



長年ご使用の換気扇の点検を!

このような
症状はあり
ませんか?

- 運転開始後回転音が不規則に聞こえたり回転しない。
- 運転中に異常音がしたり振動がある。
- 異臭がする。
- その他、異常を感じる。

このような症状のときは、使用中を中止し、故障や事故の防止のため、運転を停止し、電源を切り、必ずお買い上げの販売事業者または取付店に点検・修理を依頼してください。

修理のご依頼は マックスエンジニアリングサービス株式会社へ



☎ 0120-011-408

インターネットでの修理のご依頼は
<http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/repair.html/>



PCサイトが
表示されます

マックス カスタマーセンター

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町6-2 マックス本社ビル別館5F
TEL 03-5623-4616 FAX 03-3668-8127

製品についてのお問い合わせは マックス株式会社へ



☎ 0120-228-428

住環境機器お客さま相談窓口

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112 FAX 03-3669-8135
<http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/support.html>



PCサイトが
表示されます

2版 2020年1月
初版 2018年7月